



図画工作「そらとぶふね」の作品を紹介します。

絵本「そらをとぶふね」を読み、自分だったらどんな空にどんなふねをとばせたいかイメージを膨らませました。

背景のそらは、ハケで水をのぼし、水彩絵の具のにじみを体験しました。そのあとは、上手にクレヨンを使い、背景を完成させました。

ふねの設計では、ワクワクしながら設定を考える子どもの姿が見られました。



作品の完成に向けて、「誰をふねにのせようかな。」とたのしそうに活動することができました。



手先の技能が身につくにつれ、思ったこと・想像したことをどんどん表現できるようになってきています。

今後も表現方法を磨き、自分の思いを形にできるようにサポートしていきます。

授業参観で掲示していた子どもたちの作品は、3月に作品バックに入れて返却する予定です。

